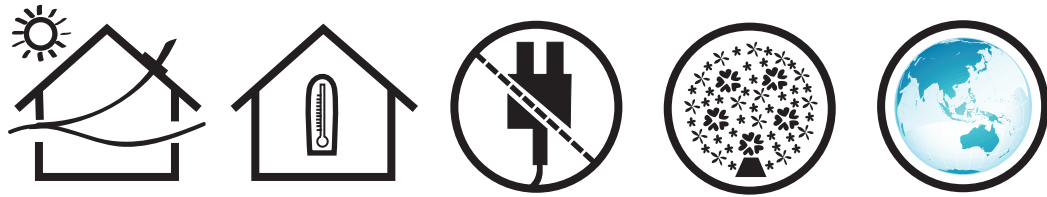




Passive Design Reform



リフォーム工務店・リフォームアップルは
 ≪健康 × 快適 × 省エネ + 燃費のよい家≫
 を目指し、住宅改修・リノベをおこないます。

《パッシブ・デザイン》5つの指針
 まずは建築で出来ることをパッシブに改修
 ①窓性能向上（断熱遮熱・通風・日射遮蔽）
 ②断熱・気密改修の普及（夏・蒸暑・冬・乾寒）
 ③電気の総量をセーブ（アパ・ア・ダク）
 ④自然素材の活用（調湿）
 ⑤歴史文化を感じる欧米デザイン

窓の性能向上 リフォーム



断熱・気密の 改修



国産材利用 リフォーム



効率のよい太陽熱利用リフォーム 「太陽光の3倍以上」

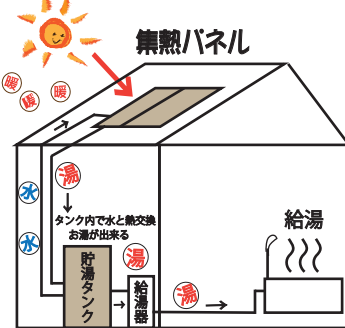
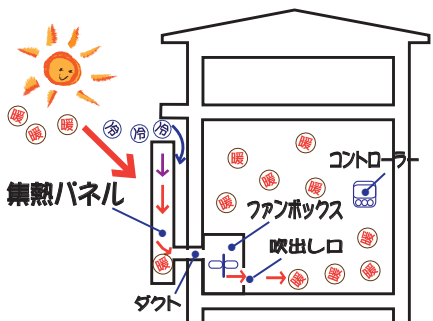
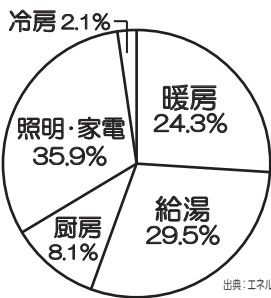
太陽熱で
空気を暖め **暖房**する

■太陽光発電のエネルギー効率率は7-18%ですが太陽熱システムは40-60%と3倍以上も高い効率的なエネルギー利用です。小さな屋根、壁面積で十分なコスト住宅のエコ化に有効な手段です！

太陽熱で
お湯を暖め **給湯**する

■日本の家庭のエネルギーは冷暖房、給湯照明、その他で3分されます。エコロジー先進国ドイツは暖房が40%。日本は「お湯につかる」習慣から給湯の省エネ化は必須です！

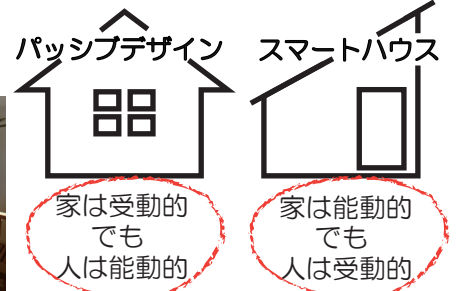
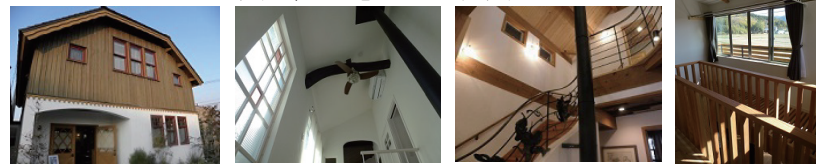
世帯当たりの用途エネルギーの割合



壁面の太陽熱集熱パネル～直接温風を室内に引き込み暖房
 材工共：約 65-70 万円



《パッシブ・デザイン・リフォーム》と 《スマートハウス》の違い



■パッシブ・デザインは、快適・健康・省エネを実現するために、まず建物自体の性能を高め同時に太陽や風、地域の気候、敷地の特性を味方につけ、アクティブな設備機器の使用をできるだけ抑える建築手法です。「パッシブ＝受動的」という意味ですが、設備機器を中心とする「アクティブ＝積極的」な手法で快適・健康・省エネを目指す「スマートハウス」との違いはここにあります。どちらかがイイかではなく、どちらを選ぶかは価値観です。パッシブ・デザインは言ってみれば「薄味」な暮らしです。薄味に慣れてくると、素材本来の魅力や調味料の旨み、料理人の腕が判るようになります。それは楽しいことで、身体にも負担をかけません。パッシブデザインが目指すのは、自然室温を基本とするうっすらとした快適さ。そして、四季の変化や朝から夜までの一日の変化、太陽や風の変化を楽しみ、また身体への負担を抑えることを目指します。一方スマートハウスは、濃い味付けの料理になぞらえることができそうです。パッシブデザインの家は、人が窓を開けたり、すだれなどで日差しを遮ったり、着込んだり脱いだりとアクティブ（積極的）に動く必要があります。スマートハウスは自動、もしくは座ったままで出来るので、パッシブ（受動的）になります。どちらをイイと思うかは価値観次第ですが、パッシブデザインはより人間的に暮らすことができると考えています。リフォームアップルでは、パッシブ・デザイン・リフォームを推進中。

Reform Apple
 リフォームアップル自治医大店
 0120-393-897 TEL0285-44-8208

《地域のリフォーム工務店》
 株式会社アップル 下野市祇園 1-20-1
 ホームページで施工例がご覧になれます
www.reform-apple.com

